

教養部会教授 岸野 俊彦

1. 研究活動

(論文) 尾張藩十四代藩主徳川慶勝の初期藩内権力	2014. 3. 28	『名古屋芸術大学研究紀要』第35巻	尾張藩14代藩主徳川慶勝は、嘉永二年に藩主になるが、成瀬、竹腰の両家年寄や、家老との対抗関係の中で、どのように藩内権力を掌握しようとしたか、その経緯について明らかにしたもの。
(紹介) 『愛知県史資料編20近世6学芸』	2013. 9	『日本思想史学』第45号	2013年3月に刊行された『愛知県史資料編20近世6学芸』について、構想、編集、執筆に関わった立場から、収録史料の内容、意義について紹介したもの。
(共著) 『愛知県史資料編』近世領主(尾張)	2014. 3	愛知県	第7章 学・芸へのまなざし(尾張藩校明倫堂、尾張藩所蔵書画、能、雅楽等) 第8章 幕末尾張藩と名古屋(14代藩主徳川慶勝関係書状、日記等)を解説も含めて担当。

2. 教育活動(教育実践上の主な業績)

大学院授業担当 有 無

授業科目 歴史学		
◆前期 ◆後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
学生の基礎学力の現状から、15回の授業を前半と後半に分け、前半を中学日本史問題集。後半を近世名古屋を中心とした身近な歴史の講義をした。前半終了時に中間試験を行い、基礎学力の確認を行った。	前半は、中学生用の日本史問題集。後半は、『新修名古屋市史』『愛知県史』の編纂過程で発見した新しい史料、画像をプリント、プロジェクター等で紹介した。	
授業科目 文化史		
◆前期 ◆後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
授業の前半を中学の復習と知識の確認を行い、その上で後半に身近な場所である近世名古屋の文化を講義し、地域の文化伝統を深く理解できるようにした。	前半は中学生用の文化史問題集。後半は、『新修名古屋市史』『愛知県史』編纂過程で発見した史料や絵画、画像等をプリントやプロジェクターで紹介した。	

3. 学会等および社会における主な活動

尾張藩社会研究会代表	2000～継続	月一回の例会、加賀藩、紀州藩等の研究会との合同研究会、『尾張藩社会の総合研究』の編集と刊行
愛知県史専門委員	1989～継続	『愛知県史』の史料調査、編集、刊行
名古屋市文化財調査委員	継続中	名古屋市の文化財の調査、保護、指定
岩倉市文化財保護委員	継続中	岩倉市の文化財の調査、保護、指定